

ルネ西宮甲子園

RENAI NISHINOMIYA KOSHIIEN

No. 20-041-2022作成

新築
集合住宅

発注者	総合地所株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション HASEKO Corporation	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社長谷工コーポレーション	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

持続可能な豊かさを育む地域型集合住宅

計画地は兵庫県西宮市、阪神甲子園駅の南に位置し、鳴尾浜に近接した住宅地である。敷地面積7,000㎡を超え、総戸数172戸の大規模開発でCASBEE Aランク取得、太陽光発電システム導入、植栽への散水用に雨水利用タンクの採用など環境に配慮した計画を行った。また木造共用棟を歩行者専用通路に面して配置し、地域に開放できるようにした。内装は杉板のあらかわしとすることで木の温もりを感じられるようにした。外観はかつての浜甲子園団地の中低層集合住宅のボリュームを想起させる2トーンの色計画としている。



外観写真

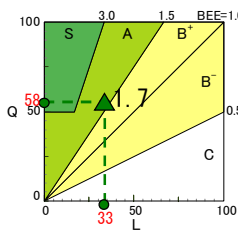


周辺環境・配置図

建物データ	
所在地	兵庫県西宮市
竣工年	2021年
敷地面積	7,117㎡
延床面積	14,386㎡
構造	RC造
階数	地上7階

省エネルギー性能	
品確法省エネ対策	等級4

CASBEE評価	
Aランク	
BEE=1.7	
2016年度版	
自治体提出	



V2H

EV充電設備

雨水利用タンク



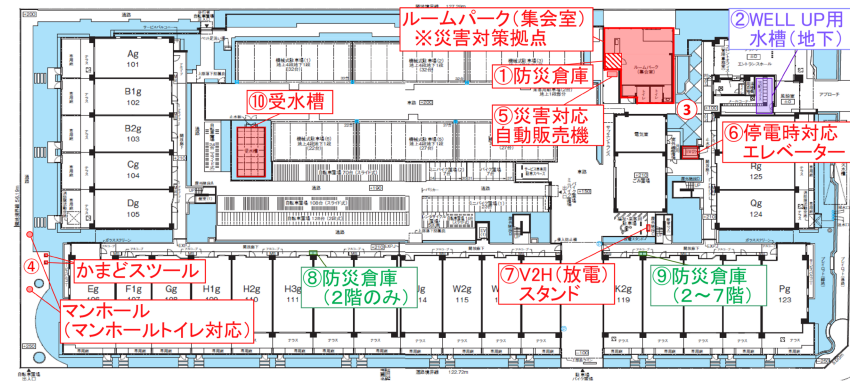
MDF室・止水扉



太陽光パネル



玄関小窓



防災用施設マップ



災害対策マニュアル



木造共用棟外観



杉板のあらかわしとした共用棟内部



ひのきのボールプール

設計担当者

統括：中川慎介／建築：鈴木義弥／構造：清水亜久里／設備：谷畑修平、小川晃平／インテリア：芝本和可、武井晴／外構：湯口享

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (外皮性能等級4を取得)
- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (排水配管の更新必要間隔の確保の為、汚水・雑排水管に鋳鉄管を採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器採用)
- LR2. 1. 水資源保護 (雨水利用タンクを設置し植栽の水遣りに利用)
- LR2. 3. 汚染物質含有材料の使用回避 (有害物質を含まない接着剤等の使用)

アクティブ・パッシブデザイン

1. 雨水利用タンク（植栽への散水用）
建物の屋根に降った雨水が樋を伝って流れていく途中に、容量75Lのステンレス製タンクを設置。雨水を貯めておくことで、植栽への散水等必要な時に水を使うことができるシステムを導入した。

2. 太陽光発電システム

太陽光エネルギーを電気に変える「太陽電池モジュール」を屋上に設置。太陽光から電気をつくり、マンションの共用部分で使用する電気として利用。

3. 玄関小窓

通風・採光性を高める玄関小窓を設けることにより、閉塞的になりやすい集合住宅の玄関を明るく快適な空間となるように配慮した。

災害対応に向けて

災害対策に向け、入居者に「災害対応マニュアル」（指定避難場所、災害への予備知識等記載）を配布した。非常用飲料水生成システム（WELL UP）、V2H（EV車のバッテリーから災害拠点に電源を供給）、電気室及びMDF室に止水扉を設置する等、敷地内のライフラインの維持を図っている。また、災害対応自動販売機やかまどスツールなど緊急時の飲食への備えも用意している。

育む木造共用棟

地区施設である並木道の歩行者専用通路に面して木造共用棟を配置した。共用棟の正面は並木道の通路に対して大きく開口を取り、視覚的に開放的な空間としている。地域住民の散歩道でもある通路に対して賑わいや景観の変化をもたらす事を意識している。壁の内装は天然木の仕上げとしており、工業製品にはない風合いと温かみのある仕上がりとなった。また、共用棟内には「木育」をテーマに兵庫県産の木材を中心に作られた木製の積木やボールプールを採用している。プラスチック製品等の普及により、木製品に触れる機会が減少している中で、日常の延長線上に自然素材を体感できる空間は子どもの豊かな心、想像力を育む環境となることを期待している。